

「インドアカップ研修」実施要領

国立江田島青少年交流の家

1 内容

スウェーデン発祥の「薪投げ（的当て・陣取り）ゲーム」を行う。年齢、性別、体力などに関係なく楽しむことができる。

2 ねらい

- ・グループで活動し、協調性や一体感を養う。
- ・チームゲームを通して汗を流し、仲間との交流を深める。

3 対象者

小学校第5学年以上

（保護者または引率者と組んで活動する場合は小学校第4学年以下も可能）



4 人数

最大72人（全員が一斉に行う場合）

（1チーム6人 1コート最大12人）



5 実施時期、時間、場所

（1）実施時期 通年

（2）時 間 午前 9時00分～12時00分

午後 13時30分～16時30分

※1 ゲーム 30分程度（人数によって異なる）

（3）場 所

体育館（6コート） 講堂（4コート） 武道館（2コート） 海洋科学室（1コート）

6 準備物

- （1）個人：運動に適した服装 タオル
飲み物 携帯電話
（体育館の場合）体育館シューズ
- （2）引率者：救急バッグ（貸出可）
- （3）交流の家（体育館倉庫）：コート設置図
カップルールシート
インドアカップセット（設置コート数分）



<インドアカップセット一式>

7 指導及び安全管理

（1）団体は、インドアカップの指導及び安全管理を行う。

（2）団体は、次の役割を担う。（小規模の団体は担当を兼ねることができる。）

- ・総括責任者（全体の総括、指導）・・・・・・・・・・・・・・・・・・1人
- ・指導担当者（用具の準備、後片付けの指示）・・・・・・・・・・1人以上
- ・救護担当者（健康観察、応急処置、AED設置場所の確認）・・・・1人以上

（3）事故発生時の処置

総括責任者は事故の状況を把握し、交流の家に携帯電話で連絡する。

8 展 開

- (1) 団体は、「物品利用希望書」に必要事項を記入し、入所日の 10 日前までに交流の家へ提出する。
- (2) 研修の準備
 - ア 体育館倉庫からインドアカップセットを出す。
 - イ 携帯用救急バッグの貸出しを希望する場合は、事務室で受け取る。
 - ウ 研修生と一緒にコートの設置を行う。(資料「コート設置図」参照)
- (3) ゲームの説明、指導等
 - ア 研修生を研修場所に集合させる。
 - イ 研修生の健康観察を行う。
 - ウ チームを編成する。
 - エ インドアカップセット及びルールシートを各チームに渡す。
 - オ 研修の目的、ゲームのルール及び進め方(資料「クップルールシート」参照)、注意事項を説明する。
 - カ ゲームをスタートさせる。
 - キ 研修生の様子を観察する。
 - ク 研修生に適宜休憩をとらせるとともに、水分補給をさせる。
- (4) 片付け等
 - ア インドアカップセット及びルールシートを回収する。
 - イ 研修生の健康観察を行う。
 - ウ 順位を決定する。
 - エ まとめ(成績発表・講評)を行う。
 - オ 研修場所を清掃する。(床のモップ掛け、掃除機掛け等)
 - カ 研修生とともにインドアカップセットを体育館倉庫に返却(整理整頓)する。
 - キ 研修終了及び物品の破損の有無を事務室へ報告するとともに、救急バッグを返却する。
- (5) その他
インドアカップセット等が破損した場合は、実費負担の弁償となる。

9 連絡先

国立江田島青少年交流の家

電話番号

0823-42-0660 (代表)

0823-42-0661 (プログラム担当係)